

後援・推薦に係る審査結果報告書

No.	申請日	申請者	行事名	会場・開催日時	行事の目的・対象・内容等	入場料	新規継続	承認区分及び決定日	審査結果
1	平成27年 8月28日	混声合唱団コー ル・カナール 代表 黒柳栄	コール・カナール第1 回演奏会	長久手市文化の家 平成27年12月17日 (木)	○合唱団の練習成果の発表並びに市の文化・芸術の発展へ寄与することを目的としている。 コールカナールによる、第1回目の演奏会。入場料無料で、「千の風になって」や「フニクリ・フニクラ」等15曲程度の合唱を行う。	無料	新規	後援 平成27年9月 24日	※平成27年9月24日（木）意見交換済。 地域住民を対象に、音楽を通して地域の文化振興を目的とする催し物であるため、後援することが適当である。
2	平成27年 9月2日	名古屋学芸大学 学長 井形昭弘	2015年度名古屋学芸大 学・名古屋学芸大学短 期大学部 公開講座 (後期)	名古屋学芸大学 教室 平成27年11月28日 (土)	○一般市民を対象とし、市民各層を対象に広く学習の機会を提供し、各分野の知識と技能の向上に寄与することを目的としている。 名古屋学芸大学・名古屋学芸大学短期大学部講師 葉山栄子が講師を務め、「発達に課題をもつ子どもの支援」というタイトルで講座を行う。	無料	継続	後援 平成27年9月 8日	前年度後援実績があり、市民を対象に広く学習の機会を提供することで、子育て支援を目的とする催し物であるため、後援することが適当である。
3	平成27年 9月4日	あいち教育研究 会 若杉秀行	小中学校音楽発表会	日進市民会館大 ホール 平成27年11月11日 (水)	○日進、東郷、長久手の各学校の児童生徒が、日頃の音楽活動を通して得た仲間とともに音楽を楽しむ心情や音楽表現力を発表し合い、豊かな情操を養う機会とする。また、それぞれの市町の音楽教育のレベルアップを図る場とする。 ○2市1町の計32校の小中学校が参加し、教科書などの小中学生にふさわしい曲の歌唱を行う。	無料	新規	後援 平成27年 9月24日	※平成27年9月24日（木）意見交換済。 主催であるあいち教育研究会は、日進・長久手・東郷に在籍する校長及び教職員で組織している。これまでは、2市1町教育委員会で主催していた発表会であり、今回あいち教育研究会の主催となった。各市町の音楽教育のレベルアップを目的とする催し物であり、後援することが適当である。

No.	申請日	申請者	行事名	会場・開催日時	行事の目的・対象・内容等	入場料	新規継続	承認区分及び決定日	審査結果
4	平成27年 9月4日	長久手市レクリエーション協会 長坂ふじ子	レクリエーションフェスティバル	長久手市杵ヶ池体育館とその周辺 平成27年10月17日 (土)	○ 子どもから大人までの長久手市民を対象とし、広く市民にレクリエーションの楽しさを知ってもらい、生活の一部へと定着するようなきっかけの場とすることを目的としている。 グラウンドゴルフやドッジビー等20種目を予定。講師はレクリエーション協会会員や、レク指導者養成講座卒業生。	¥100 1人あたりの傷害保険料と参加賞の合計と同額	継続	後援 平成27年 9月15日	前年度後援実績があり、市民にレクリエーションの楽しさを知ってもらい、日常生活に取り入れてもらうことを目的とする催し物であるため、後援することが適当である。
5	平成27年 9月9日	株式会社テレビ愛知企画 代表取締役社長 大橋牧人	モリコロパーク サイクルフェスティバル 2015	愛・地球博記念公園 平成27年10月4日 (日)	○ 幼児（2歳）以上から一般市民を対象とし、休日に健康やエコロジー、交通安全をテーマとしたイベントを提供することで、青少年の健全な育成を目的とするサイクルフェスティバル。 自転車競技（4種目）、自転車フェス（物販や試乗イベント）、ステージイベント（地元アイドルのステージや愛知県警察による交通安全教室）、グルメイベントを開催。また、幼児を対象としたランニングバイクイベントも同時開催。	入場無料 参加料 ¥2,000 ～ ¥5,500	継続	後援 平成27年 9月24日	前年度後援実績があり、子どもから大人まで参加できるエコロジービークルである自転車の競技やイベントを通して、県民のスポーツ振興や青少年の健全育成を目的とする催し物であるため、後援することが適当である。
6	平成27年 9月25日	一般財団法人言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ 代表理事 榊原陽	親子で楽しむワークショップと講演会	長久手市公民館 平成27年11月25日 (水) 平成27年11月28日 (土) 平成27年12月5日 (土)	○ 一般市民を対象とし、「家族で楽しむ多言語生活」をテーマに、その実践と理論を紹介し、『多文化共生』の啓発活動を行う。	無料	継続	後援 平成27年 10月1日	前回（平成26年度）後援実績があり、習得が難しい外国語が楽しく話せるようになる経過の話を通して、“ことばと人間”について考えることを目的とした催し物であるため、後援することが適当である。